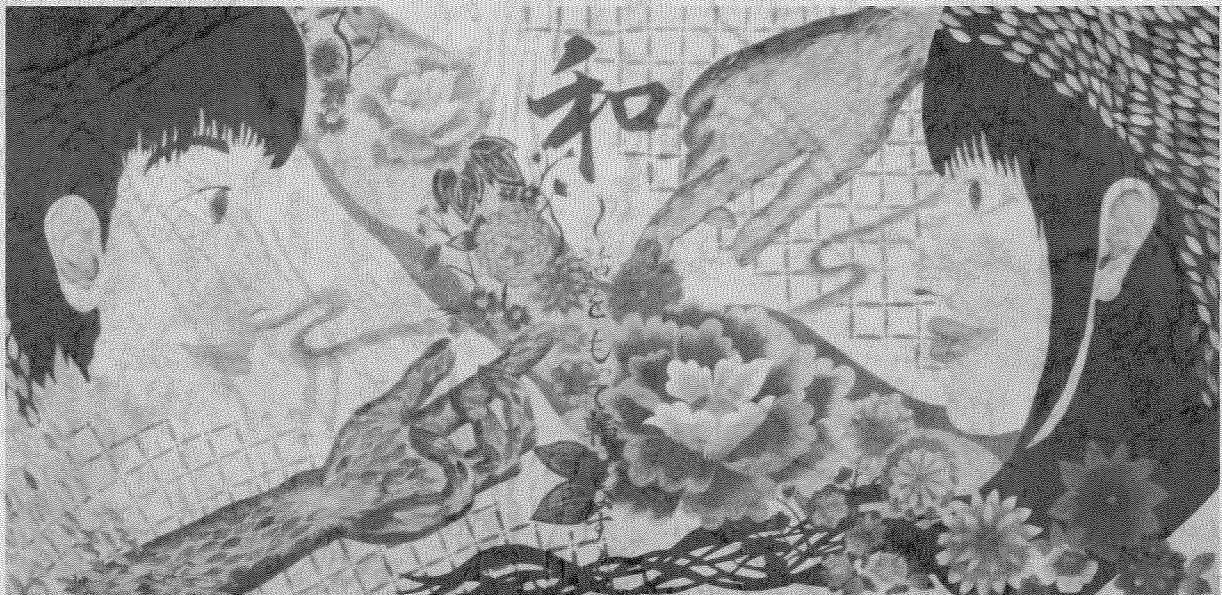


第35集

中学校長会研究集録



大分県中学校長会

あ い さ つ

平成20年度大分県中学校長会の研究活動の締めくくりに当たり、その研究活動の取り組みと成果を「第35集研究集録」として、各郡市校長会のご協力により発刊できますことを心より感謝申し上げます。

さて、少子高齢化、情報化等の社会の変化のなか、教育基本法、教育関連三法の改正をはじめとして、教育においてもさまざまな改革が行われています。また、平成20年3月には新学習指導要領が告示されました。平成24年度新学習指導要領の完全実施に向けて、教育課程の編成に係る多くの課題がありますが、確かな学力・豊かな心の育成・健やかな体の育成など「生徒の生きる力」の育成を目指し、校長としてのリーダーシップを発揮して、教職員の資質向上に努め、諸課題の解決に向けた取り組みが重要と考えます。

このようななか、大分県中学校長会では、「未来を切り拓く心豊かでたくましい日本人を育てる中学校教育」を研究主題として、連帯意識をもってさまざまな教育課題に対応するとともに、その解決に向けて取り組んだ一年だったと思います。また、保護者や地域に信頼される学校、開かれた学校を目指して、校長のリーダーシップのもと地域や家庭との連携を大切にして、教職員とともに生徒の夢の実現に向けて、特色ある学校づくりに日々努力してきました。教育は、「信頼と連携」が一番重要だと言われています。私たち校長は学校経営の責任者として、保護者や地域の期待に応えるためにさまざまな研修を推進してきました。7月には「第54回大分県中学校長研究大会日田大会」が開催され、全体会と5つの分科会で研究発表がありました。この大会では、全体会や各分科会において、多くの実践が発表され、その熱心な取り組みは、今後の学校経営の参考になる素晴らしいものでありました。

また、第59回全日本中学校長会研究協議会宮崎大会では、第1研究協議の中で、「学校からの教育改革」が提案され、その視点として、①学校の教育力の向上、②家庭・地域との連携、③新しいシステムの検討等、3点あげられました。とりわけ学校の教育力の向上のなかでは、「教育課程の創意工夫」「学校評価の充実」等が取り上げられており、平成24年度新学習指導要領の完全実施に向けて、各種の研究会で研修を深め、積極的に推進していくことが重要だと思いました。

これらを受けて、大分県中学校長会は、各郡市校長会と連携しながら、「生徒が夢を持ち、その夢の実現のために、どのような指導を推進していけばよいのか」を常に考えながら、校長として課題意識をもって、学校経営の一層の充実と自らの資質向上に努め目的を明確にして研究活動を推進していかなければならないと考えます。

本研究集録は、各郡市の校長会が取り組んだ研究と県校長会研究部長会の班別による研究テーマ「新学習指導要領に対応した教育課程の実践的研究」の成果を集録しております。是非、有効に活用くださるようお願いいたします。

終わりにになりましたが、本研究集録に執筆していただいた会員並びに編集に当たられました研究部の校長先生方に深く感謝を申し上げ、あいさつといたします。

目 次

第1部 郡市部長会 研究のまとめ

1, 中津市	1
保護者や地域住民に信頼された学校づくりをめざして 代表執筆者 中津市立豊陽中学校長 三池 修	
2, 豊後高田市	5
市内全校で取り組む小中連携 代表執筆者 豊後高田市立真玉中学校長 榎本 淳一	
3, 宇佐市	9
確かな学力の定着とふるさとを愛する生徒の育成 ～中高の連携と地域の支えを受けながら～ 代表執筆者 宇佐市立安心院中学校長 菅原 智徳	
4, 国東地区	14
学力向上とコミュニケーション能力の育成 ～選択教科の工夫等と地域人材活用学習力向上支援事業の継続～ 代表執筆者 国東市立富来中学校長 花木 和義	
5, 杵築市	20
閉校・開校の取り組みにおける校長のリーダーシップの取り方について 代表執筆者 杵築市立上中学校長 一丸 久子	
6, 速見郡	25
豊かな人間性と社会性をはぐくむ教育の推進 ～多様な体験活動をとおしての豊かな人間関係の醸成～ 代表執筆者 日出町立大神中学校長 三浦 昭	
7, 別府市	30
人と人を結び「結び」中心とする授業の創造 ～小グループを生かした協同的な学習の工夫を通して～ 代表執筆者 別府市立山の手中学校長 高見 春生	
8, 大分市	34
未来を拓く学校づくり ～今日的な課題を通して～ 代表執筆者 大分市立碩田中学校長 中野 正倫	
9, 臼杵市	38
「評価から意欲化に」 ～意欲につながる学校評価の推進～ 代表執筆者 臼杵市立東中学校長 三重野 猛志	
10, 津久見市	43
組織マネジメントを活用した学校経営 ～どうすれば学校を活性化できるか～ 代表執筆者 津久見市立第一中学校長 田鹿 福二	
11, 由布市	48
自ら学び、心豊かで心身ともにたくましい生徒の育成を目指して ～保護者・地域の人々との連携にどう取り組むか～ 代表執筆者 由布市立挾間中学校長 生野 和秀	
12, 佐伯市	52
社会の一員として自らの生き方を希求する教育の推進 ～家庭や地域と連携し、職業観や勤労観を育むキャリア教育～ 代表執筆者 佐伯市立東雲中学校長 安部 潔人	

13, 豊後大野市	61
社会的自立をはぐくむ生徒指導の充実 代表執筆者 豊後大野市立清川中学校長 得能 洋子	
14, 竹田市	67
保護者・地域に「信頼される開かれた学校づくり」の推進 ～教育的ニーズに応える校長の役割と取り組み～ 代表執筆者 竹田市立都野中学校長 大塚 和夫	
15, 日田市	71
「生きる力」をはぐくむ特色ある教育課程の編成と実施 ～伝統の継承と発展～ 代表執筆者 日田市立五馬中学校長 宇野 修次	
16, 玖珠郡	75
特色ある教育課程の編成・実施に向けて ～特別活動における学校行事と総合的な時間の指導内容の整理～ 代表執筆者 玖珠町立玖珠中学校長 奥村 光範	

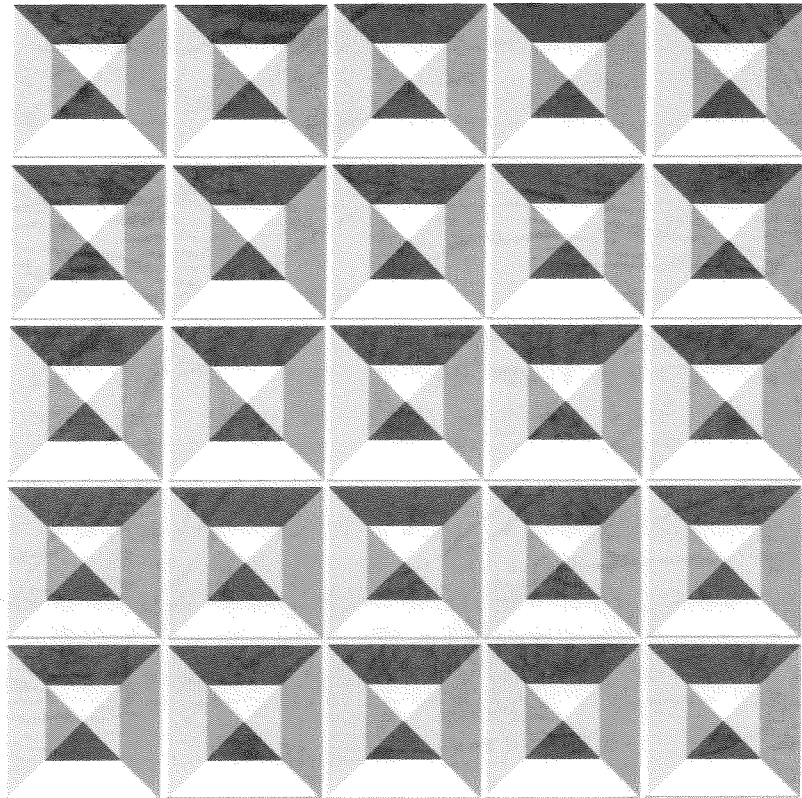
第2部 研究部長会 研究のまとめ

1, 第1班	83
テーマ 道徳教育の充実を図る教育課程の編成 座長 安倍 喜八郎 (宇佐市) 部員 三浦 昭 (速見郡) 釜口 成男 (杵築市) 榎本 淳一 (豊後高田市)	
2, 第2班	86
テーマ 平成21年度移行措置への対応 座長 得能 洋子 (豊後大野市) 部員 池本 敏郎 (国東地区) 高木 健一 (佐伯市) 佐伯 公範 (竹田市)	
3, 第3班	88
テーマ 選択教科と総合的な学習の時間の時数減に係る編集内容の整理 座長 山村 雅洋 (臼杵市) 部員 梅林 孝志 (中津市) 奥村 光範 (玖珠郡) 三苫 眞治郎 (日田市)	
4, 第4班	91
テーマ 子どもと向き合う時間の確保の工夫 座長 田鹿 福二 (津久見市) 部員 中野 正倫 (大分市) 生野 和秀 (由布市) 寺岡 悌二 (別府市)	

平成21年度 研究大会の案内	94
第55回大分県中学校長研究大会 中津大会	
第60回全九州中学校長研究大会 鹿児島大会	
第60回全日本中学校長会研究協議会 福島大会	

第36集

中学校長会研究集録



大分県中学校長会

あ い さ つ

平成21年度大分県中学校長会の研究活動の締めくくりに当たり、その研究活動の取り組みと成果を「第36集研究集録」として、各郡市校長会のご協力により発刊できますことを心より感謝申し上げます。

さて、少子高齢化、高度情報化、国際化、政権交代など、急激な進展や変化を見せ、その中に期待感や先行き不透明な不安感が折り重なっている感覚が続いて久しいものがあります。

このような中、新しい教育基本法が制定され、その教育理念を実現するための教育関連法や学習指導要領が改訂されました。本年度は、移行措置のスタートの年であり、各学校において改訂の趣旨を踏まえるとともに、創意を生かした教育課程を編成し、実施しているところであると思います。今後、平成24年度新学習指導要領の完全実施に向けて、地域の諸課題に対応した魅力ある教育課程の編成に取り組み、「確かな学力の定着」「豊かな心の涵養」「健やかな体の育成」など、生徒の「生きる力」の育成を図るため、校長としてのリーダーシップを発揮して、教育の推進エネルギー源である教職員の資質向上に努め、併せて、完全実施をにらんだ諸課題の解決や条件整備等に向けた取り組みを進めていかなければならないと考えます。

大分県中学校長会では、「未来を切り拓く心豊かな人間性と創造性を備えた日本人を育てる中学校教育」を研究主題として、全国、県内の校長会と連帯意識をもってさまざまな教育課題に対応するとともに、その解決に向けて取り組んでまいりました。また、保護者や地域に信頼される学校、開かれた学校づくりを目指して、地域や家庭との連携、小学校との連携を大切にして、教職員とともに生徒の夢や希望の実現に向けて、特色ある学校づくりに日々努力してきました。

「教育は信頼関係のなかに成り立つ」と言われています。私たち校長は学校経営の責任者として、保護者や地域の期待に応え、信頼を得て、さらに充実した教育を実践できるようにするため、さまざまな研修を推進してきました。

7月には「第55回大分県中学校長研究大会中津大会」が開催され、全体会と5つの分科会で研究発表がありました。この大会では、全体会や各分科会において、たくさんの実践が発表され、活発な意見交換のもと、熱心な取組がなされ、今後の学校経営の参考になる素晴らしいものでありました。また、第60回全九州中学校長研究大会鹿児島大会では、教育の今日的課題にふれ、時宜を得た明日の教育につながる協議が活発になされました。さらに、第60回全日本中学校長会研究協議会福島大会では、“全日中教育ビジョン「学校からの教育改革」”が提示され、その視点として、①学校の教育力の向上、②家庭・地域との連携、③教育行政への期待、④新しいシステムの成果と課題があげられました。また、確かな学力、健全育成など10の項目に渡る、「全日中からの10の提言」が出されました。大会においては、全体会と8分科会において、学校の教育力の向上につながる実践について積極的に協議がなされ、充実した研修を積むことができました。

これらを受けて、大分県中学校長会は、各郡市校長会と連携しながら、「生徒が夢をもち、その夢の実現のために、どのような指導を推進していけばよいのか」を常に考えながら、校長として課題意識をもって、学校経営の一層の充実と自らの資質向上に努め目的を明確にして研究活動を推進していかなければならないと考えます。

本研究集録は、各郡市の校長会が取り組んだ研究と県校長会研究部長会の班別による研究テーマ「新学習指導要領に対応した教育課程の実践的研究」の成果を集録しております。是非、有効に活用くださるようお願いいたします。

終わりになりましたが、本研究集録に執筆していただいた会員並びに編集に当たられました研究部の校長先生方に深く感謝を申し上げ、あいさつといたします。

目 次

第1部 郡市部長会 研究のまとめ		1
1. 中津市	小中連携や保護者・地域との連携を通して学校改善に取り組む中学校をめざして 代表執筆者 中津市立中津中学校長 江口 博孝	1
2. 豊後高田市	教育環境向上に向けた学校と地域の連携 ～教育・文化活動の中核としての学校づくりをめざして～ 代表執筆者 豊後高田市立都甲中学校長 奥野 卓二	5
3. 宇佐市	地域社会の一員として、生きる力を育む教育の推進 ～小中高の連携や地域に根ざした活動から～ 代表執筆者 宇佐市立駅川中学校長 岩男 妙子	10
4. 国東地区	基礎学力の定着を図り、自ら意欲的に学ぶ生徒の育成 代表執筆者 国東市立安岐中学校長 池本 敏郎	15
5. 杵築市	次年度の教育課程編成に向けて 代表執筆者 杵築市立大田中学校長 穂吉 文博	20
6. 速見郡	自ら考え、豊かに学び、よりよく生きる生徒の育成 ～小中の連携を通して～ 代表執筆者 日出町立大神中学校長 菅 英一	25
7. 別府市	確かな学力を身につける生徒の育成 代表執筆者 別府市立浜脇中学校長 山西 敏晴	29
8. 大分市	未来を切り拓く生徒を育てる学校づくり ～今日的な課題を通して～ 代表執筆者 大分市立南大分中学校長 丸田 幸夫	33
9. 臼杵市	これからの学校経営とリーダーシップのあり方 ～学校の活性化に向けて～ 代表執筆者 臼杵市立豊洋中学校長 佐藤 茂樹	37
10. 津久見市	学校評価の実施による学校運営の改善 代表執筆者 津久見市立第二中学校長 深江 克寿	42
11. 由布市	社会的な生き方や社会性を育む教育の充実 ～望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育の推進を通して～ 代表執筆者 由布市立湯布院中学校長 山月 昭二郎	47
12. 佐伯市	学校組織の一員としての意識改革に向けた教職員評価システムの活用 代表執筆者 佐伯市立鶴谷中学校長 山口 雄平	52

13. 豊後大野市	社会的自立をはぐくむ生徒指導の充実 代表執筆者 豊後大野市立清川中学校長 渡邊 秀夫	58
14. 竹田市	豊かな心や社会性を育む教育の推進 ～学校・家庭・地域社会の連携を通して～ 代表執筆者 竹田市立緑ヶ丘中学校長 佐伯 公範	63
15. 日田市	保護者や地域に信頼される学校をめざして 代表執筆者 日田市立戸山中学校長 大岡 平和	68
16. 玖珠郡	活力ある学校運営の推進 ～教職員の学校経営への参画意識をどう高めるか～ 代表執筆者 玖珠町立北山田中学校長 池部 小夜	73

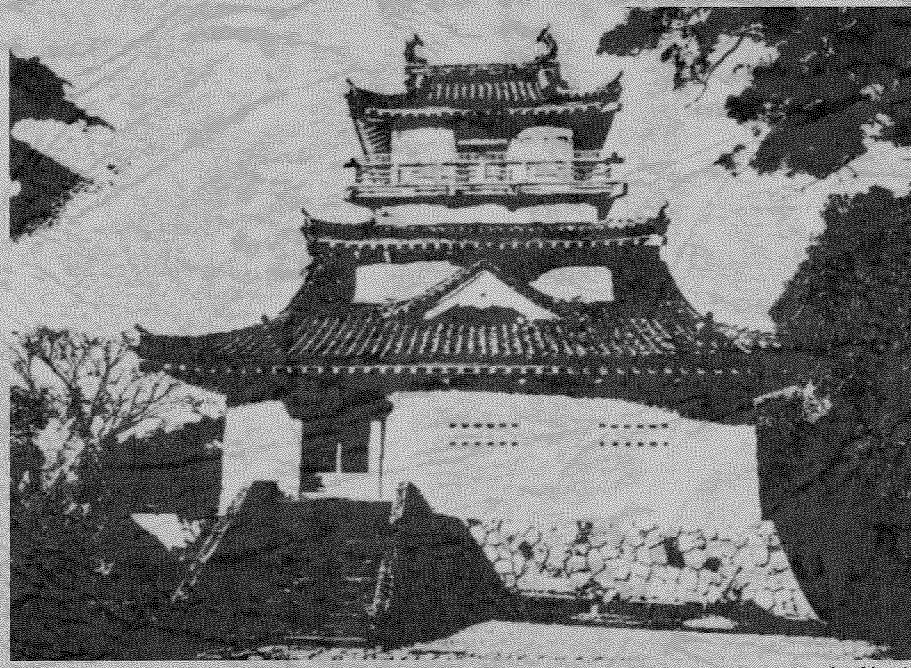
第2部 研究部長会 研究のまとめ

1. 第1班	テーマ：学校・地域の特色を生かした教育課程の編成・実施 座長 奥村 光範（玖珠郡） 班員 梅林 孝志（中津市） 穂吉 文博（杵築市） 生野 和秀（由布市）	77
2. 第2班	テーマ：「確かな学び」を推進する指導の充実 座長 奥野 卓二（豊後高田市） 班員 山西 敏晴（別府市） 手嶋 英明（国東市） 丸田 幸夫（大分市）	80
3. 第3班	テーマ：伝統文化の理解・継承・発展を図る教育活動の推進 座長 宇野 修次（日田市） 班員 菅原 智徳（宇佐市） 菅 英一（速見郡） 佐伯 公範（竹田市）	83
4. 第4班	テーマ：健やかな心身をはぐくむ教育の推進 ～基本的な生活習慣の確立をどう進めていくか～ 座長 佐藤 茂樹（臼杵市） 班員 深江 克寿（津久見市） 渡邊 秀夫（豊後大野市） 梶川 徳弘（佐伯市）	86

平成22年度 研究大会の案内	89
第56回大分県中学校長研究大会 杵築大会	
第61回全九州中学校長研究大会 熊本大会	
第61回全日本中学校長会研究協議会 高知大会	

第37集

中学校長会研究集録



杵築城

大分県中学校長会

第37集 中学校長会研究集録の編集に当たって

平成22年度大分県中学校長会の研究活動は、各郡市校長会と連携し、「生徒が夢を持ち、その夢の実現のために、どのような指導を推進していけばよいのか」を常に考えながら推進されてきました。校長としての課題意識を持ち、学校経営の一層の充実と自らの資質向上に努めるための取り組みと成果を「第37集 研究集録」として、ここに発刊できますことを深く感謝申し上げます。

さて、教育基本法改正から4年目にあたる今年度は、中学校教育をめぐる、いじめ・不良行為・不登校・学力問題・保護者からの過剰要求問題など、様々な教育課題に対処する必要があります生じています。そのためには、教育内容・方法の改革などをはじめとした多岐にわたる取り組みを、できるだけ早く実行しなければなりません。これらの教育改革のテーマとして、一つには個性の重視と個人の主体性の確立があります。また、人間的つながりが失われていく時代にあって、学校・家庭・地域社会との連携とそれぞれの教育力の向上ももう一つのテーマとして考えられます。

このような中、大分県中学校長会では、「未来を切り拓く心豊かでたくましい日本人を育てる中学校教育」を研究主題として、これまでの教育の流れを踏まえながら、常に教育の本質を問いつつ、子どもたちの現状と未来に目を向けてきました。そして、現代の教育情勢を大局的な視野からの確に捉えるとともに、「マネジメント能力」の向上に努め、強いリーダー性と適切な判断力を持つ「校長」をめざしてきたのです。

7月2日には「第56回大分県中学校長研究大会杵築大会」が、会員129名全員参加のもと、住吉浜で開催されました。「確かな学び」や「教職員の育成」等、5つのねらい達成に向けて、それぞれの分科会での実践発表と真摯な討議が行われました。

また、8月に開催された「第61回全九州中学校長研究大会熊本大会」では、現在の青少年を「未来からの留学生」と位置づけながら、課題の一つである小中連携への実践として「学校統合に向けた校長会の取り組み」や「新学習指導要領における教育課程の工夫としてのいのちの授業」が全体会で発表されました。

今年度、特に注目度の高い坂本龍馬や維新時に活躍した多くの志士達の出身地である高知市で10月に開催された「第61回全日本中学校長会研究協議会高知大会」では、全日中研究部より全国調査結果に基づいた「学校からの教育改革」についての提案がありました。一つの中学校や一人の校長の取り組みではない、つながりを持ちながらの継続的研究の必要性が強く叫ばれ、これからの大分県中学校長会研究部会の目指す方向性の一つとして受け取られるものでした。

これら大分県、九州、全国の研究大会全てに参加した校長として、今必要な教育改革を一步でも推進するために、まず自分自身から行動にうつし、「夢を語る生徒」の育成に向けたさらなる取り組みに努力することをあらためて決意してきました。

本研究集録は、各郡市の校長会が取り組んだ研究と県校長会研究部長会の班別による研究成果を集録しています。是非、有効に活用くださるようお願いいたします。

終わりにになりましたが、本研究集録に執筆していただいた会員の方々、並びに編集に当たられました各郡市研究部長の校長先生方に深く感謝を申し上げます。

大分県中学校長会 研究部長 渡辺 孝弘
(大分市立植田西中学校長)

目 次

第1部 郡市部長会 研究のまとめ			
1. 中津市	-----	1	
小中連携や保護者・地域との連携を通して			
代表執筆者 中津市立今津中学校長			西 照幸
2. 豊後高田市	-----	6	
教育環境の充実と学校教育活動の推進			
～学ぶ意欲を高める学校づくり～			
代表執筆者 豊後高田市立田染中学校長			古庄 健一
3. 宇佐市	-----	10	
新たな「小中高一貫教育」の取り組み			
代表執筆者 宇佐市立安心院中学校長			吉村 高三
4. 国東地区	-----	14	
基礎学力の定着を目指して			
～国東地区の学力向上の拠点校として～			
代表執筆者 国東市立国東中学校長			手嶋 英明
5. 杵築市	-----	18	
創造的で特色ある教育課程の編成・実施			
～人材育成を基軸としたリーダーシップの発揮～			
代表執筆者 杵築市立杵築中学校長			豊田 元一
6. 速見郡	-----	27	
「教育の原点はへき地にあり」極小規模校の再生を図る			
～小中一貫教育と特認校制度の運用～			
代表執筆者 日出町立南端小中学校長			藤原 和彌
7. 別府市	-----	33	
「聞き合い学び合う教育環境の推進」			
～「聞くこと」の指導に係る市内8校の中学校の取り組み状況について～			
代表執筆者 別府市立青山中学校長			御手洗 茂
8. 大分市	-----	37	
未来を切り拓く豊かな人間性と創造性を備えた日本人を育てる中学校教育			
～今日的課題を通して～			
代表執筆者 大分市立上野ヶ丘中学校長			三浦 享二
9. 臼杵市	-----	41	
これからの学校経営とリーダーシップのあり方			
～地域の力を生かす学校経営を通して～			
代表執筆者 臼杵市立豊洋中学校長			佐藤 茂樹
10. 津久見市	-----	45	
意欲的・主体的に学習に取り組む生徒の育成			
～「国語力」育成を通して（「書く」ことを中心に）～			
代表執筆者 津久見市立保戸島中学校長			鳥越 俊典
11. 由布市	-----	49	
確かな学力と豊かな人間性を身につけ、自己実現に積極的に取り組む生徒の育成			
～連携型中高一貫教育のあり方の研究を通して～			
代表執筆者 由布市立湯布院中学校長			管 一博
12. 佐伯市	-----	53	
時代の要請に応える学校経営の充実			
～学校改善に学校評価をいかす～			
代表執筆者 佐伯市立蒲江翔南中学校長			富高 芳樹

13. 豊後大野市	-----	57	
「確かな学び」を推進する指導の充実			
～学力・体力の向上をめざす取り組みを通して～			
代表執筆者 豊後大野市立朝地中学校長			佐伯 公範
14. 竹田市	-----	62	
竹田市「教育TOP運動」の推進			
～学校・家庭・地域の連携を通して～			
代表執筆者 竹田市立直入中学校長			藤村 暢
15. 日田市	-----	66	
中学校における金融教育への取り組みについて			
代表執筆者 日田市立前津江中学校長			河津 英磨
16. 玖珠郡	-----	71	
地域・保護者と連携した学校活性化の取り組み			
代表執筆者 玖珠郡九重町立野上中学校長			濱田 淳

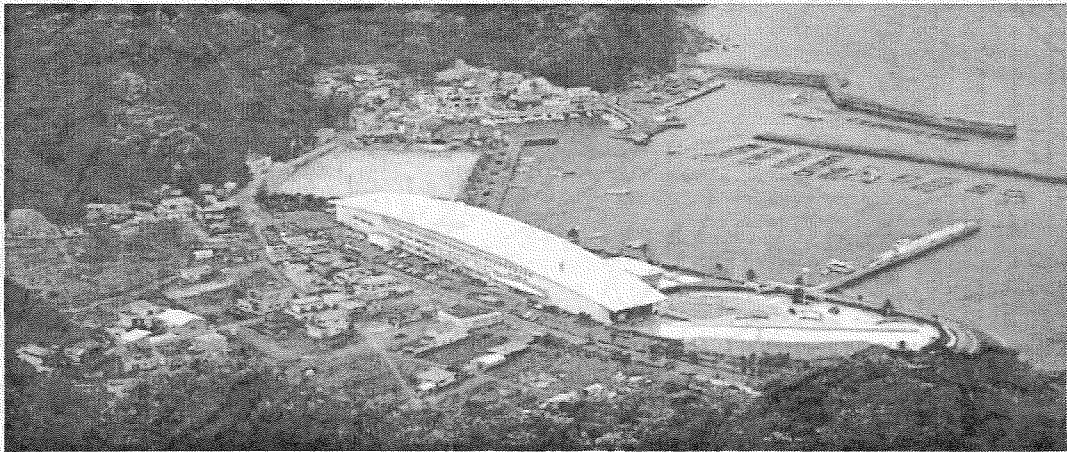
第2部 研究部長会 研究のまとめ

1. 第1班	-----	75	
テーマ：各教科・領域において言語活動の充実をめざした教育課程の編成			
座長	笠口 成男（杵築市）		
班員	藤川 裕美（玖珠郡）	菅 英一（速見郡）	
	吉村 高三（宇佐市）		
2. 第2班	-----	78	
テーマ：社会的自立をはぐくむ生徒指導の充実			
～不登校や学校不適応生徒への対応の在り方～			
座長	佐伯 公範（豊後大野市）		
班員	古庄 健一（豊後高田市）	三浦 享二（大分市）	
	梶川 徳弘（佐伯市）		
3. 第3班	-----	82	
テーマ：地域の力を生かす学校経営を探る取り組み			
～キャリア教育への取り組みを通して～			
座長	佐藤 茂樹（臼杵市）		
班員	梅林 孝志（中津市）	鳥越 俊典（津久見市）	
	生野 和秀（由布市）		
4. 第4班	-----	85	
テーマ：「教職の専門性と資質・能力の向上を図る研修の充実」			
座長	伊藤 貞之（別府市）		
班員	中磨 文利（国東市）	藤村 暢（竹田市）	
	宇野 修次（日田市）		

平成23年度 研究大会の案内	-----	88	
第57回大分県中学校長研究大会 佐伯大会			
第62回全九州中学校長研究大会 長崎大会			
第62回全日本中学校長会研究協議会 埼玉大会			

第38集

中学校長会研究集録



佐伯市蒲江町 マリンカルチャーセンター

大分県中学校長会

第38集 中学校長会研究集録の編集に当たって

平成23年度大分県中学校長会の研究活動は、平成25年8月19日(月)から3日間別府市ビーコンプラザでの開催が決まった「第64回全九州中学校長研究大会大分大会」を見据え、その準備を兼ねた企画・計画に基づくものとなりました。ただ、活動そのものは、各郡市校長会と連携して推進されることに変わりありません。そしてその目的も、校長としての課題意識の上に立ち、学校経営の一層の充実と自らの資質向上に努めることです。ここに今年度一年間の成果を「第38集 研究集録」として、発刊できますことを関係各位の方々に深く感謝申し上げます。

さて、今年度の教育界は、平成23年3月11日の「東日本大震災」を語ることなしにはあり得ません。これは、日本人全ての生き方や活動等にいえることでもありました。お互いの絆を大切にしようとする方向性を確認しながら、同時に、私たち中学校長は、目の前にある中学校教育をめぐる諸々の課題に対処する必要性もあります。そのため、教育内容・方法の改革・創造など多岐にわたる取り組みを、できるだけ早く実行しなければなりません。これらの教育改革の主テーマとしては、学校・家庭・地域社会との連携とそれぞれの教育力の向上を目指すこと等が、震災後特に必要だと考えられます。

このような中、今年度の大分県中学校長会は、「未来を切り拓く豊かな人間性と創造性を備えた日本人を育てる中学校教育」を研究主題として、各研究会を通し現代の教育情勢を大局的な視野からの確に捉えるとともに、「マネジメント能力」のより高い「校長」を目指してきたのです。

7月1日には「第57回大分県中学校長研究大会佐伯大会」が、大分県蒲江町マリソカルチャーセンターで開催されました。全体会での県教委指導主事照山勝哉氏による説明「新学習指導要領の趣旨を生かした創意ある教育課程」のあと、それぞれの分科会での実践発表と討議が活発に行われました。

また、8月24日(水)から3日間開催された「第62回全九州中学校長研究大会長崎大会」では、「東日本大震災からの復興と学び」「新学習指導要領全面実施に向けての取り組み」を中心的課題と位置づけた取り組みが発表されました。

東日本大震災では震度5強を記録したさいたま市で、全国から約2300名が参加し10月27・28日に開催された「第62回全日本中学校長会研究協議会埼玉大会」では、全日中研究部より特に生徒指導についての調査研究報告とその総括、「確固たる規範意識と、自己指導力の育成」への取り組みが提案されました。また、全九州中学校長研究大会長崎大会で提起された中心課題に、「全日本教育ビジョン3年目としての実践と検証」が加えられました。

同じテーマは3年間の原則に基づき、来年度からの新テーマも「未来を切り拓く豊かな人間性と創造性を備え社会において自立的に生きる日本人を育てる中学校教育」に決定しました。早速、このテーマに沿った大分大会にすべく準備を継続していきます。

本研究集録は、各郡市の校長会が取り組んだ研究と県校長会研究部長会の班別による研究成果を集録しています。是非、有効に活用くださるようお願いいたします。

大分県中学校長会 研究部長 渡辺 孝弘
(大分市立賀来小中学校長)

目 次

第1部 郡市部長会 研究のまとめ

1. 中津市	1
積極的な生徒指導の充実をめざして ～家庭・地域社会との連携を進めながら～ 代表執筆者 中津市立三光中学校長	久恒 和孝
2. 豊後高田市	6
確かな学力を育み 心豊かで たくましい生徒の育成 元気・本気・根気のある学校づくり 代表執筆者 豊後高田市立香々地中学校長	国見 清隆
3. 宇佐市	10
新たな「小中一貫教育」の取組み 代表執筆者 宇佐市立安心院中学校長	福島 和孝
4. 国東地区	15
自らの研鑽とリーダーシップを発揮する校長会 代表執筆者 国東市立国見中学校長	國廣 耕治
5. 速見郡	19
いきいきと学び、心豊かで、たくましく生きる生徒の育成 ～小・中、家庭、地域の連携を通して～ 代表執筆者 日地町立大神中学校長	都留 敏彦
6. 別府市	23
「学校間格差のない、安心して聞き合い学び合える教育環境づくりの推進」 代表執筆者 別府市立山の手中学校長	一丸 哲也
7. 大分市	28
未来を切り拓く豊かな人間性と創造性を備えた日本人を育てる中学校教育 ～今日的課題を通して～ 代表執筆者 大分市立神崎中学校長	児玉 徳信
8. 臼杵市	32
これからの学校経営とリーダーシップのあり方 ～学校・地域の特色を生かした学校経営を求めて～ 代表執筆者 臼杵市立野津中学校長	佐藤 茂樹
9. 津久見市	36
ふるさとを愛し、自ら学ぶ意欲と力を持ち心豊かにたくましく生きる 子どもたちの育成をめざす学校教育の推進 代表執筆者 津久見市立保戸島中学校長	高橋 修一
10. 由布市	40
豊かな心と生きる力を育む特別支援教育の推進 ～手厚く適切な支援・指導を行うために～ 代表執筆者 由布市立庄内中学校長	佐藤 重信
11. 佐伯市	44
小・中9年間を見通した思考力・判断力・表現力の育成 ～豊かな学びのための小・中一貫教育のシステムの確立と内容の深化～ 代表執筆者 佐伯市立本庄中学校長	前門 清一郎
12. 豊後大野市	48
豊かな心の育成を図る教育の推進 ～道徳教育・人権教育の取り組みを通して～ 代表執筆者 豊後大野市立三重中学校長	佐伯 公範

13. 竹田市	52
竹田市「教育のまちTOP運動」 ～みんなで取り組む！ 竹田市「独自」の教育のまちづくり～ 代表執筆者 竹田市立都野中学校長	板井 亮一
14. 日田市	56
威宜園教育の理念を生かした学校経営 ～「錐と槌」を基盤として～ 代表執筆者 日田市立東溪中学校長	藤野 明
15. 玖珠郡	60
創意と活力にあふれる学校づくり 代表執筆者 玖珠町立森中学校長	池部 小枝子

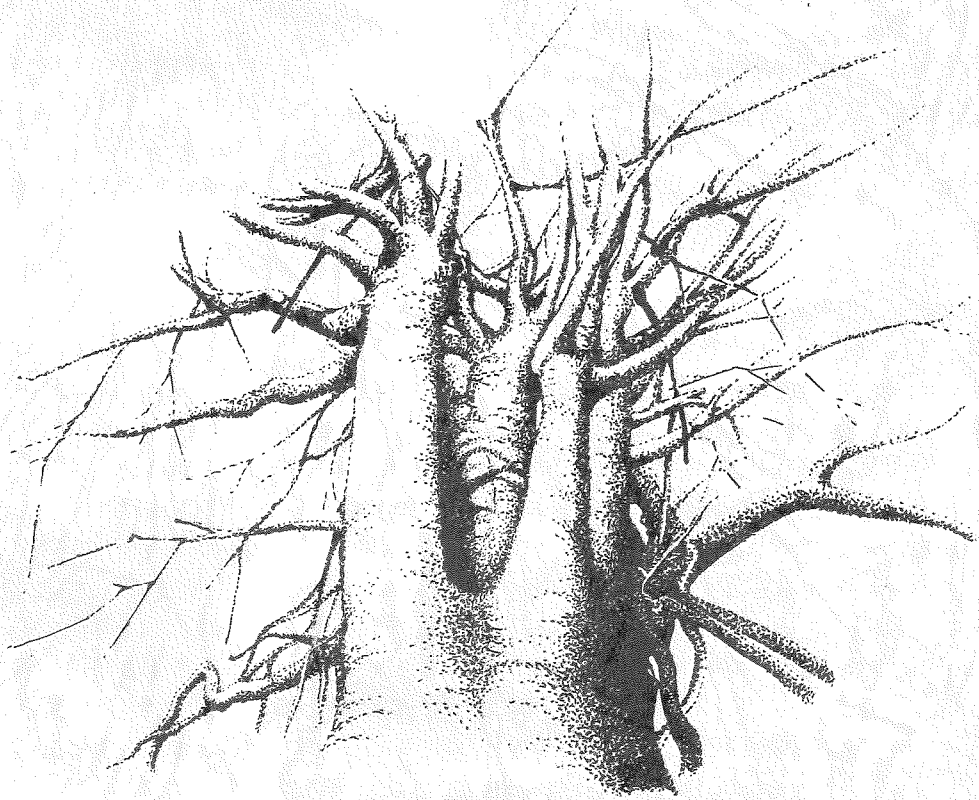
第2部 研究部長会 研究のまとめ

1. 第1班	63
テーマ：学校・地域の特色を生かした教育課程の編成・実施 ～校種間の連携を通して～	
座長 佐伯 公範 (佐伯市)	
班員 三池 修 (中津市) 福島 和孝 (宇佐市)	
国見 清隆 (豊後高田市) 板井 亮一 (竹田市)	
2. 第2班	67
テーマ：学校経営方針の具現化に向けた校長のリーダーシップ	
座長 石田 圭介 (日田市)	
班員 池部 小枝子 (玖珠郡) 梶川 徳弘 (佐伯市)	
3. 第3班	71
テーマ：新学習指導要領の趣旨を生かした創意ある教育課程の工夫・改善	
座長 豊田 元一 (杵築市)	
班員 友永 敦子 (別府市) 都留 敏彦 (速見郡)	
國廣 耕治 (国東地区)	
4. 第4班	74
テーマ：学校・地域の特性を生かした教育課程の編成	
座長 児玉 徳信 (大分市)	
班員 佐藤 茂樹 (臼杵市) 山月 昭二郎 (由布市)	
高橋 修一 (津久見市)	

平成24年度 研究大会の案内	77
第58回大分県中学校長研究大会 豊後大野大会	
第63回全九州中学校長研究大会 佐賀大会	
第63回全日本中学校長会研究協議会 大阪大会	

第39集

中学校長会研究集録



「山里に立つ一本の櫻」

画：竹田市立竹田南部中学校長 峯田宣和

大分県中学校長会

第39集 中学校長会研究集録の編集に当たって

平成22・23年度大分県中学校長会研究部長を努められた渡辺研究部長の後を受け、平成24年度は、平成25年度開催の「第64回全九州中学校長研究大会大分大会」の成功を命題として私、田島へとバトンタッチされました。

何分右も左も分からない、浅学非才の私が研究部長なのですから、この一年は研究部の皆さんに大いに支えられ、何とか全九中に向けた一歩が踏み出せたのではないかと考えています。

さて、今年度の教育界は多岐にわたる取り組みが求められました。これまで「人権教育」「道徳教育」の充実に加え、「学力向上」「体力向上」が強く叫ばれ、「小中一貫教育」「地域連携」「食育」「ICT教育」「防災教育」「いじめ防止教育」「自殺防止教育」への対応等々、さらに教職員に対しては「資質の向上」「メンタルヘルス」が大きな課題となり、「エコ」の推進、「業務の軽減」とあらゆることの対応が求められてきています。昨今、学校を取り巻く環境の変化、生徒の多様化、地域や家庭教育力の低下と言われ続けた結果、その対応の殆どを学校が担っているような気がしてなりません。今こそ学校は教職員と共に生徒を中心に据えた、的確な取り組みを求められているのではないかと考えます。私自身その根本は二つあると考えています。一つは「心の教育」二つ目は「絆」いわゆる「繋がり」です。生徒の心が育たなければ、どんな取り組みを行ったとしても決して身につくものではありません。そのためには教職員はもとより、生徒や保護者、地域、関係機関との「絆」心の繋がりが大切なのではないかと考えているのです。

そのような中、今年度は来年度の全九中大分大会を見据えた準備の年ということで、研究部では日田市が協議題1で発表予定であるため、「知・徳・体の調和のとれた特色ある教育課程の編成」に添ったテーマを設定して4班編制で研究を進めてきました。それぞれ公務多忙を極めており、全員が揃わないこともあり臨時で研究部会を開催した班やメールで取り組み状況を把握しながら研究を進めた班等、それぞれの実状に応じて熱心に充実した研究が進められました。

各郡市研究部長の皆さまの誠意ある取り組みに感謝と敬意を表したいと思います。

さて、平成24年6月29日(金)に「第58回大分県中学校長研究大会豊後大野大会」がエイトピアおおのを会場に開催されました。豊後大野市、竹田市の校長先生方の結束力と温かいお持てなしの中、全体会「創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成」を主題として竹田市立都野中学校 板井亮一校長のこれまで積み上げられた研究発表をはじめ、5分科会で実践発表の後、活発な討議が行われました。

8月23・24日の2日間開催された「第63回全九州中学校長研究大会佐賀大会」では、「生徒の生きる力の育成を目指し学校力、教師力を高め、今年度から全面实施となる学習指導要領の趣旨を具現化していくこと」ことを大会趣旨として全体会、そして分科会では、初めての試みであったグループ討議の中で、熱心な意見や情報交換が行われ、来年度の大分大会に参考となる大変有意義な大会となりました。

10月4・5日に開催された「第62回全日本中学校長会研究協議会」では、大会主題を「未来を切り拓く豊かな人間性と創造性を備え 社会において自立的に生きる日本人を育てる中学校教育」とした初の大会でした。また、記念講演に講師としてノーベル医学生理学賞を受賞された「山中伸弥」氏が『iPS細胞研究の進展』を演題として講演されたことは非常に感慨深いものがありました。

来年度の研究部長会は、大分大会を踏まえ竹田市の研究発表の検討と大会研究部としての準備作業を進めていきます。なお、本中学校長会研究収録についても、大分大会の大会集録に替えることとします。

一年間の各郡市での研究実践、県研究部長会での真摯的な研究の取り組みにより完成しました本研究収録が、十分活用されますようお願いしまして、部長としての編集のまとめといたします。ご協力ありがとうございました。

大分県中学校長会 研究部長 田島正博
(大分市立坂ノ市中学校長)

目 次

第1部 郡市部長会 研究のまとめ

1. 中津市	1
校内研修・授業改革を柱にした学校づくり	
代表執筆者 中津市立中津中学校長 古口 宣久	
2. 豊後高田市	6
豊かな心と確かな学力を育み、たくましく生きる生徒の育成	
代表執筆者 豊後高田市立田染中学校長 升巴 洋一郎	
3. 宇佐市	10
地域とともに歩む学校教育「小中高一貫教育」の取組み	
代表執筆者 宇佐市立安心院中学校長 福島 和孝	
4. 杵築市	15
豊かな人間性と自ら学ぶ力を持ち、意欲的に活動する生徒の育成	
代表執筆者 杵築市立宗近中学校長 糸長 啓二	
5. 国東地区	20
校長としての実践的研修の深化をめざして	
～課題を整理・明確にし、情報交換を密に考えや思いを共有しながら～	
代表執筆者 国東市立国東中学校長 岐部 準次	
6. 速見郡	24
豊かな心、社会性を育む教育の推進	
～体験活動や学校・家庭・地域の連携を通して～	
代表執筆者 日出町立大神中学校長 都留 敏彦	
7. 別府市	29
確かな学力を身につけるための研究の一步	
代表執筆者 別府市立鶴見台中学校長 高橋 祐二	
8. 大分市	33
未来を切り拓く豊かな人間性と創造性を備えた日本人を育てる中学校教育	
～今日的課題を通して～	
代表執筆者 大分市立南大分中学校長 大城 久武	
9. 臼杵市	37
自ら進んで学ぶ生徒の育成	
～仲間との関わりの中で、表現する活動を通して～	
代表執筆者 臼杵市立北中学校長 安東 雅幸	
10. 津久見市	42
心豊かで、たくましく、自ら学ぶ意欲と実践力のある生徒の育成	
代表執筆者 津久見市立無垢島中学校長 新納 眞智子	
11. 由布市	48
連携型中高一貫教育の取組み	
～確かな学力と豊かな人間性を身につけ、自己実現に積極敵に取り組む生徒の育成～	
代表執筆者 由布市立湯布院中学校長 橋本 洋一	
12. 佐伯市	52
学校や地域の特色を生かした学校経営の充実	
～21世紀を生きる有益な人材の育成をめざして～	
代表執筆者 佐伯市立本匠中学校長 上野 浩三	
13. 豊後大野市	56
「生きる力」をはぐくむ食育の推進	
～食に関する指導の取組を通して～	
代表執筆者 豊後大野市立清川中学校長 深田 幹男	

14. 竹田市	60
新しい時代を創造し、心豊かに逞しく生きる児童・生徒の育成を目指す学校経営	
～竹田市「教育の町TOP運動」の推進を通して～	
竹田市公立中学校長会	
15. 日田市	64
咸宜園教育の理念を根底にした学校経営	
～義務教育9カ年を見通した中学校教育のありかた～	
代表執筆者 日田市立大明中学校長 川野 一美	
16. 玖珠郡	68
一人ひとりの良さを生かし、心豊かで、たくましく、仲間・北山田と	
共に生きる生徒の育成	
代表執筆者 玖珠町立北山田中学校長 田坂 義巳	

第2部 研究部長会 研究のまとめ

1. 第1班	72
テーマ：確かな学力の定着を図る指導と評価	
～学ぶ意欲を高める学習指導と評価の工夫・改善～	
班長 古口 宣久（中津市）	
班員 升巴 洋一郎（豊後高田市） 福島 和孝（宇佐市）	
板井 亮一（竹田市） 深田 幹男（豊後大野市）	
2. 第2班	75
テーマ：創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成	
～知・徳・体の調和のとれた特色ある教育課程の編成～	
班長 染矢 博史（佐伯市）	
班員 田坂 義巳（玖珠郡） 藤野 明（日田市）	
3. 第3班	78
テーマ：新学習指導要領の趣旨を生かした創意ある教育課程の工夫・改善	
班長 都留 敏彦（速見郡）	
班員 高橋 祐二（別府市） 糸長 啓二（杵築市）	
岐部 準次（国東市）	
4. 第4班	81
テーマ：学校や地域の特色を生かした教育課程の編成	
～異校種間・地域の連携を通して～	
班長 進来 ふさの（臼杵市）	
班員 大城 久武（大分市） 橋本 洋一（由布市）	
高橋 修一（津久見市）	

第3部 第58回大分県中学校長研究大会豊後大野大会のまとめ

平成25年度 研究大会の案内

第64回全九州中学校長研究大会 大分大会	94
第64回全日本中学校長会研究協議会 福井大会	100